

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～27℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—シケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり13トンの水揚げがあった。
- イカ釣—スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の50%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり13kgの水揚げで、前週の36%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり82kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり164kgの水揚げで、前週の56%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり11kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網—対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり331kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり395kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり45kgの水揚げ（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/30～7/5の6日間）沖合イカ釣、冷凍船は能登沖から大和堆付近に移動。赤イカは北太平洋に出漁。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>